

あとがき

〈編集顧問〉

太田 保世
諏訪 邦夫
堀江 孝至

〈編集委員〉

和泉 徹
小川 聡
巽 浩一郎
永井 良三
橋本 修
平山 篤志
三嶋 理晃

〈編集協力委員〉

赤石 誠
赤柴 恒人
北風 政史
近藤 哲理
中沢 潔
(五十音順)

びまん性肺疾患は100疾患以上ある。これらの疾患の発生機序や治療法の解明が進んでおり、成果が蓄積されつつある。本号の特集「難治性びまん性肺疾患克服への取り組み」は、肺びまん性疾患の中でLymphangioleiomyomatosis (LAM)、肺胞蛋白症、サルコイドーシス、Bronchiolitis obliterans (BO)、特発性肺線維症、慢性過敏性肺炎を取り上げ、その分野のエキスパートの先生方に病因、発生機序、治療などの最新の話題について執筆していただいた。

LAMに関しては、細胞増殖抑制を目的としたmTOR阻害薬のラパマイシンによる治療法の現状を中心に解説した。LAMは進行性に呼吸機能が低下し、気胸の合併などもみられ呼吸不全に至る疾患で、有効な治療法がなかったが、近年、ラパマイシンの有効性が報告されて以来、治療効果が期待されている。肺胞蛋白症に関しては、抗GM-CSF抗体と発生機序の関連性が指摘されて以来、GM-CSFの全身投与あるいは吸入療法の有効性が確認され、さらに最近ではGM-CSF受容体 α 鎖の変異の関与が指摘されている。サルコイドーシスでは、病態のオーバービューとメトトレキサート(MTX)治療の現状について解説いただいた。終末細気管支から呼吸細気管支を主体に狭窄を認めるBOの原因疾患は多彩であり、疾患概念の歴史は古いですが、本邦でも約10年前に発症が確認されたアマメシバによるBOが報告され注目を浴びた。特発性肺線維症では、2008年12月に発売されたピルフェニドンの効果と有効症例の臨床像、ポリミキシンB固定化カラムによる血液浄化(PMX)療法、抗酸化療法への期待、さらに新しい治療薬について解説いただいた。慢性過敏性肺炎は詳細なオーバービューと実際の臨床に役に立つフォローアップ時の注意について解説いただいた。

画像上、びまん性陰影を認めた時、詳細な病歴聴取、身体所見、呼吸機能検査所見、高分解能CT所見などから診断的アプローチが始まる。症例によっては病理組織像を得るべく肺生検を行う。これらの一連の検査所見を読む時、私たちは病態を形成する機序、個々の細胞の機能、細胞間相互作用、細胞内シグナル分子機能の理解と考察を心がけているであろうか。本特集は、発症機序を含めて疾患を理解する重要性を改めて認識する特集でもある。

(橋本 修)

呼吸と循環(第60巻 第4号)

発行 株式会社 医学書院

2012年4月15日発行(毎月1回15日発行)

代表者 金原 優

定価 2,835 円(本体 2,700 円+税 5%)

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 樋川・今田)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

2012 年年間購読料
 冊子版 32,400 円 冊子+電子版/個人 37,400 円
 冊子+電子版/共有 42,300 円
 電子版/個人 32,400 円 電子版/共有 37,300 円
 (税込み、配送料弊社負担)

E-mail: kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上掲権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** (株)出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。